

HAMAYOU

発行者 芦屋町ボランティア
活動センター「りーど」
発行所 遠賀郡芦屋町中ノ浜 11-6
町民会館 2階
TEL 093-221-1011
発行日 平成 30年 11月 1日

芦屋町ボランティア活動センター通信 104号

キッズにゅ〜す

秋の活動報告 その①!

◆赤い羽根共同募金 街頭募金活動

10月1日(月)

毎年10月1日は、スーパーはまゆづの前で街頭募金活動に参加しています。今年も台風の影響で小学校の運動会が延期になったため、キッズの参加は無理かと思いましたが、急遽2名参加してくれました。アッシーと一緒に大きな声で募金を呼びかけました。



◆ふれあい交流研修会

10月13日(土)

りーどぼらんていあキッズは、あしや砂像展の砂像制作コンテストに参加します。コンテスト練習と交流会を兼ねた、ふれあい交流研修会を開催しました。

最初に、りーどぼらんていあキッズと初参加のキッズで、カレーを作ってみんなで交流会をしました。

ジャガイモとにんじんをピーラーでむく係、タマネギむいてきざむ係。野菜を切り終わったら、ていねいに炒めて、それから煮込みました。とてもおいしく出来上がりました。ボランティア活動センターでみんなでお食いました。



昼食の後は、「オアシス」という生け花に使うスポンジのようなものを、パレットナイフで削る練習をしました。砂と同じような感覚で、削ることは簡単なのですが、間違えたら元には戻せません。出来上がりの形を想像しながら、慎重に削りました。

思い通りに削れなくて15cm四方の「オアシス」がどんどん小さくなっていききました。

それでもみんな、少しでもコツをつかんだみたいで、なんとか形作る事ができました。さて、本番に活かせるでしょうか?



◆あしや砂像展2018 砂像制作コンテスト

10月21日(日)

快晴に恵まれた日曜日、あしや砂像展2018の会場で砂像制作コンテストが開催されました。

りーどぼらんていあキッズチームは、小学5年生4名・4年生1名、3年生4名、1年生1名、プラス1名未就学の計11名で大きなアッシー制作に挑みました。

まずは砂山を木枠で囲み、砂を固める作業から。中に何名かずつ入って踏み固め、バケツで砂を入れ、水をかけてまた踏み固めました。



木枠の中 満員!



5年生4名 頼ります



アッシーの足 作ってます

木枠をはずし、最初にアッシーの頭を作りました。削るところと削ってはいけないところを確認しながら進めました。アッシーの頭が順調にできたので、手足も作ることにしました。

「子どもと大人のしゃべり場」 芦屋東小学校

アツシーの形はできたので、みんなでゆっくりお昼ご飯を食べました。から揚げの争奪戦が勃発しそうだったようですが、仲良く食事ができました。

さて、午後はアツシーの仕上げです。手足などパーツの担当決めをして、みんなで仕上げを行いました。



全員でアツシーを仕上げます

協力していいいに作ります



アツシー完成！
作品名は、「アツシーねちやった！」

完成！！
みんなで作品名を決めました

午後3時30分からコンテストの表彰式がありました。なんと！！りーどぼらんていあキッズは、「特別賞」を受賞しました。

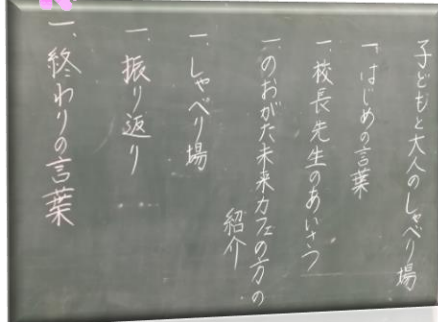


10月20日に芦屋東小学校で開催された「子どもと大人のしゃべり場」に参加してきました。大人と児童1対1で出された質問について、交互に1分間ずつ話をします。終わったら児童が1席移動して、次の大人と話をします。

先日の中学生とは違い、子どもたちは最初ちよつとソワソワしていました。友だちのお母さんが近くにいるので照れているようでしたが、始めるときちんとしていました。

質問は、「大切なもの」とか「どこに行きたいか」とか、そして「言えなかったごめんさい」など様々でした。児童たちへ「言えないありがとうは？」と質問すると、「お母さんへ、ご飯を作ってくれてありがとう」と言いたい」と答えてくれました。

家族を大切に思っていることが伝わってきました。



最後に「幸せになるためには何をしたらいいか」と質問されたのですが、今がすでに幸せなのだから、どう答えたらいいかと悩みました。相手児童も同様だったようです。

私が「今、幸せだと思おう？」と問うと「はい」と。次に「じやあ今の幸せを続けるためにはどうしたらいいと思う？」と聞くと、「命を大切にすること」と即座に答えました。

深く考えることもなく素直に出てきた答えに、返す言葉がなかなか見つかりませんでした。これ以上の回答があると思いますか？大人としてうまく言葉を返せず、しどろもどろになりながら「その思いだけは忘れないで」と言うのが精いっぱいでした。

全体での感想の中にも、「命の大切さを学びました」という意見が児童から上がりました。

芦屋東小学校6年生が感じている「命の大切さ」についてもうしばらく話をしていたかったです。ちよつと衝撃的で、素敵な1日でした。

★季節のボラセン★

10月21日以降のボランティア活動センターは砂だらけでした。砂像制作コンテストに参加した名残です。あらゆるものから砂がこぼれ出てきました。でも、入賞したのでりーどぼらんていあキッズががんばった証しみたいで、楽しく片付けができました。

★編集後記★

上記「しゃべり場」で、最初の大人の質問は「子どものころ好きだった給食のメニュー」。これには会場が少しざわつきました。私たちの頃(昭和40・50年代)は、カレーとかハンバーグとか、現在の児童にもわかりやすいメニューがあまりなかったで、説明がしづらかったです。また「給食がまだなかった」という高齢者の方もいらっしやいましたよ。この質問はNGだったと・・・

りーどぼらんていあキッズおめでとう！ 廣田

ボランティア活動センターよりお知らせ

❖断捨離マーケット実行委員募集！

31年2月開催予定の

断捨離マーケットの運営

ボランティアを募集しています

詳細はボランティア活動センターまで ☎093・221・1011



★各種教室（見学できます。詳細はお問い合わせ下さい）

■デジタル写真教室

・ADPC(火曜日 13:00)

■福祉支援教室

・芦屋町手話の会

(月4回 水曜日 19:00)

・ハーティネットあいあい視覚障がい者支援

(月2回 木曜日 13:00)

■手作り教室

・さくら会〈洋裁教室〉

(水曜日 10:00)

・でんでんむし〈布絵本教室〉

(木曜日 10:00)

■英会話教室

・AEGC

(木曜日 10:00)